

平成28年6月30日(木)、ホテル椿山荘東京において、地方自治体(長野県、横須賀市、壱岐市、鈴鹿市)との共催で、在京外交団等を対象とする平成28年度第1回「地域の魅力発信セミナー」を開催しました。在京外交団等から71名(57団体)の参加があり、各地方自治体により各地域の観光の魅力や投資環境の利点を訴えるプレゼンテーションを行ったほか、内閣官房より、2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会におけるホストタウンの推進について説明がありました。また、プレゼンテーションの後には、各地域の特産品や観光を紹介するブース出展と交流会が行われました。

【各地方自治体によるプレゼンテーション(プレゼンテーション順)】

- (1)長野県: 外国人から見たNAGANOの魅力伝えます。
- (2)横須賀市: 都心から1時間。日帰りで楽しめる
YOKOSUKAに来ませんか
- (3)壱岐市: 福岡からたったの1時間! ようこそ
壱岐の「島」へ
- (4)鈴鹿市: ものづくりのまち 鈴鹿



プレゼンテーションでは、各地方自治体が、それぞれの観光地や伝統工芸、スポーツキャンプ地などの魅力をアピールしました。



【交流会の様子】

各地方自治体が出展したブースでは、着物を身につけた職員や、忍者部隊、甲冑隊に加え、イメージキャラクター(ゆるキャラ)が外交団等を出迎え、地元の特産品として、例えば長野県は「根曲がり竹の味噌汁」、横須賀市は「寿司や刺身」、壱岐市は「壱岐牛のローストビーフ」、鈴鹿市は「穴子の天ぷら」等を試食品・試飲品として提供し、どれも大変好評でした。文化体験コーナーにおいても、水引作り(長野県)、ヨコスカスリッパ作り(横須賀市)、伊勢型紙及び鈴鹿墨による書道体験(鈴鹿市)が行われ、普段触れられない地域の文化に触れる外交団の姿が見られました。各ブースでは、外交団等出席者と自治体の方々が名刺交換をしながら、観光や物産等の魅力について熱心に意見交換をする姿も多く見られました。今回の交流会が、今後の海外観光客等の地方訪問等のきっかけになることを期待しています。

セミナーに参加した外交団からは、「日本のきれいな田舎の風景が見られた。是非訪れてみたい」、「珍しい食材を食べることができた」などの声が聞かれました。参加自治体からは、「多くの国や企業と交流ができて非常に有意義だった」、「旅行業の方数名とお話をさせていただいたが、興味を持っていただけたように感じた」などの感想が寄せられています。外務省では、地方の皆様と外交団が関係を築くための情報提供と交流の場として今後も様々な取組を行ってまいりますので、皆様からの御参加、御協力、御提案をお待ちしております。